

第1回

# 首下がり研究会

(最小侵襲脊椎治療学会(MIST学会)分科会)

こちらに、  
テーマが入ります。

会期 2022年10月8日(土)

会場 三田NNホール  
(東京都港区芝4-1-23)

会長 石井 賢 (国際医療福祉大学医学部  
整形外科学主任教授)

## プログラム Program

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

■■■■■タイトル■■■■■  
氏名 氏名(●●大学●●部●●●●●●)

## 第1回首下がり研究会開催報告書

2022年10月8日（土）に、三田NNホールを会場として、第1回首下がり研究会が国際医療福祉大学整形外科石井賢主任教授を会長として開催されました。本研究会は首下がり症候群の病態解明、診断と治療の向上を目的とした医療従事者間での情報共有、医学の発展への寄与、社会への啓発活動を目的として2021年に最小侵襲脊椎治療学会（MIST学会）の分科会として発足しました。首下がり症候群は超高齢化社会で増加しつつあるものの、その病態に不明な点が多い疾患です。本研究会では首下がり症候群のエキスパートの講演と、現地開催での熱い議論を目的として、今回初めて開催されました。

プログラムでは首下がり症候群について切り口を異にした10名の講演が開催されました。保存療法、手術療法、画像的解析、病態の解明など多岐に渡る内容であり、参加者全員にとって意義深い会となりました。また各講演後には会場で活発な質疑応答がおこなわれました。いずれも首下がり症候群の未解明な病態に迫る鋭い議論がおこなわれ、現時点での治療の成果と課題がより鮮明に浮き彫りになるものでした。

現地開催のみのため参加人数が懸念されましたが、当日は50人以上に及ぶ参加者に会場いただき、当日の運営も大きなトラブルなく円滑に進行いたしました。本学会へご参加あるいはご支援を頂いたすべての皆様に深謝いたします。ありがとうございました。



